



No. 330

2017年11月1日

発行 日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール: rengo-yamaguchi@rengo-y.com

発行人 伊藤 正 則
編集人 藤 田 英 二

広 報

連合山口

http://rengo-y.com

平成7年5月22日第3種郵便物承認 毎月1日発行 購読料1部15円(組合費を含む)

次の飛躍へ確かな一歩を

～連合山口 第24回定期大会開催～

連合山口は10月28日、山口市で175名の出席のもと第24回定期大会を開き、2018-2019年度の運動方針や役員体制など満場一致で確認した。新会長には網戸茂氏(自動車総連)・新事務局長には伊藤正則氏(情報労連)を選出し、向こう2年間の活動をスタートさせた。



▲役員改選で新役員に選出された皆さん

冒頭、挨拶に立った中繁尊範会長は「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けた諸活動を振り返るとともに、衆議院選挙に触れ「国民軽視の強引な国会運営を繰り返す、自民党・一強政治からの転換を図るべく闘うと位置づけて取り組んだが、急転直下の解散に加え政治情勢が混沌とする中、山口の地から風穴を開けるには至らなかった」と総括し感謝とお礼を述べた。

また、連合が2年後に結成30年の節目を迎えることから「向こう2年間、現下の課題を再整理し、さらなる運動の飛躍につなげていかなければならない」と述べた。

また、神津里季生連合会長、村岡嗣政県知事をはじめ各界の

ご来賓から祝辞を受けた。

2018-2019年度運動方針として①組織の拡大と強化②政策課題の実現③労働条件の底上げと労働環境の整備④政治活動の充実強化⑤教育・広報活動の推進⑥連合活動の推進⑦組織・財政基盤の確立の7項目について確認したのち、網戸会長、伊藤事務局長をはじめとする2018-2019年度新役員を選出した。

大会の最後は網戸新会長の音頭による「団結ガンバラウ」を参加者全員で三唱し、閉会した。

<審議事項>

- 第1号議案 2018-2019年度運動方針(案)について
- 第2号議案 2018年度諸会計予算(案)について
- 第3号議案 役員を選出について
- 第4号議案 表彰について
- 第5号議案 顧問の委嘱について

新会長決意表明

連合山口に集う、構成組織や職場、地域からの期待に応えるべく運動を目指す



新会長
網戸 茂 進

会長を就任するにあたり、私は「働くことを軸とする安心社会の実現」をめざし、社会からの期待に応えるべく労働運動の前進と社会的拡がりのある活動の実現に向けて全力で取り組むことを「コミット」いたしました。そして、連合は2019年に結成30周年を迎え、その節目を前に次の時代の連合運動を力強く切り拓いていくためにも、今からの2年間で、足元をしっかりと固める期間と位置づけました。

そんな中、連合山口としても運動方針に基づき、構成組織、単組、地域協議会、地区会議の連携のもとに「7万人連合山口」に向けた組織拡大の実現をめざし、すべての働く者のための労働運動を力強く展開し、その社会的役割と価値を確実に次の時代につなげていく活動を皆さんとともに進めていく決意で頑張ります。

もくじ p1~p3

連合山口第24回定期大会

p4

山口県政策・予算に対する要請行動
・第48回衆議院総選挙

2018～2019年度運動方針に関する大会発言(要旨)

村上貴子代議員(自動車総連)

●本部コメント

●教育活動について



運動方針では「教育体系に基づく従来の役職階層別教育を検証し、特に次代の労働運動を担う若手リーダーの育成に向けて必要な見直しを図る」としているが、連合本部、連合山口、地協が担うもの、さらには産別、単組が担うべきものなど整理が必要だと考える。

今後、ターゲットをどの階層に置くのか、どのような枠組みで検討し、どのような方向性で進めていくのかについて現時点での考えを確認したい。

連合の教育指針と先進的な他県連合の取り組みを参考にするとともに、非専従役員が多いという実態を踏まえ、参加しやすさと中身と継続性を両立できるよう検討を進めていきたい。

連合山口の教育体系は、2013年に整備したもののだが、各階層教育の目的の具体化や達成方法についての再議論が必要。構成組織の様々な教育事情を踏まえ、連合山口としてやるべき教育メニューを作らなければならない。

どのような枠組みで検討していくのかについてはその議論の方向性を踏まえて決めていくことになる。

好永 浩晃議員(自治労)

●組織の拡大・強化の取り組みについて



自治労山口県本部では、組織強化拡大の向こう2年間の取り組みとして官制ワーキングプアと言われる臨時・非常勤職員の処遇改善を強力に推進していく。具体的には臨時・非常勤職員の雇用実態の精査や、学習会での意見集約をもとに、具体的な賃金水準の設定や休暇制度の拡充、正規職員への登用などをめざし、その成果をもとに組織化の前進を図りたい。「7万人連合山口の実現」に向け、連合山口の連携・協力をお願いしたい。

連合山口にも自治体勤務のパート職員の方々から様々な労働相談が寄せられている。改善すべき問題があるということは、組織化の芽があるということでもある。大会終了後速やかに連合山口の組織拡大選任者を窓口で打合せをいただき、具体化に向けた連携を進めたい。

友澤 剛代議員(基幹労連)

●組織・財政基盤の確立について



組織財政に関しては昨年度の大会で「会費の10円の値上げの可否について議論を開始する」としていたが、今大会運動方針では「慎重論が強く値上げ回避の方向で議論を開始」となっている。2期連続赤字となった現状を見るとさらなる改善や改革が必要である。連合山口として時代の流れや実態を踏まえた運動の構築と活動の展開といった視点で、会員が理解・納得できる議論をされるよう丁寧かつ慎重な対応をお願いしたい。

会費値上げについては慎重論というより反対意見が強かったため、回避の方向で議論を開始することとした。よってもう一段の地協を含めた組織機構の見直し、それに伴う専従役員職員の定数減の議論をせざるを得ない。構成組織、地協の皆さんにおかれても是非とも当事者意識を強く持っていただき、現財政状況の中で連合の役割と責任を果たしていくためにはどのように再構築していくべきなのか、真摯な議論をお願いしたい。

～ご来賓の皆様～

- 日本労働組合総連合会会長 神津里季生 様
- 山口県知事 村岡 嗣政 様
- 山口労働局局長 金刺 義行 様
- 民進党山口県総支部連合会代表 西嶋 裕作 様
- 山口県議会議員 佐々木明美 様
- 山口県議会議員 秋野 哲範 様
- 山口県議会議員 戸倉多香子 様
- 山口県議会議員 井上 剛 様
- 山口県議会議員 中嶋 光雄 様
- 山口県労働者福祉協議会専務理事 古都 昇 様
- 全労済山口推進本部事務局長 吉光 靖文 様
- 中国労働金庫山口県営業本部本部長 杉本 郁夫 様
- 山口県生活協同組合連合会専務理事 高木 直哉 様
- 連合山口顧問弁護士 佐伯 奉文 様
- 山口県退職者連合会長 升田 正通 様

ご臨席ありがとうございました。

退任役員

永年の連合活動へのご尽力に対し、心より感謝申し上げます。



中繁尊範前会長



山近和浩前事務局長



山中守前副事務局長



徳本義治前副事務局長

2018-2019年度 連合山口役員

<p>〈会 長〉</p> <p>網戸 茂 (自動車総連)</p> <p>〈副 会 長〉</p> <p>梶本 康仁 (自治労)</p> <p>富田 悟史 (自動車総連)</p> <p>徳野 啓範 (基幹労連)</p> <p>岡村 貴史 (JEC連合)</p> <p>加藤 仁 (UAゼンセン)</p> <p>中元 直樹 (電力総連)</p> <p>川崎 二郎 (JP労組)</p> <p>富田 博之 (電機連合)</p> <p>新城 一朗 (JR連合)</p>	<p>角 寿成 (情報労連)</p> <p>〈事務局長〉</p> <p>伊藤 正則 (情報労連)</p> <p>〈副事務局長〉</p> <p>豊村 雄二 (自治労)</p> <p>藤田 英二 (基幹労連)</p> <p>高橋 宏治 (電力総連)</p> <p>吉中 寛典 (JP労組)</p> <p>田中 英夫 (連合山口)</p> <p>鶴岡 純枝 (連合山口)</p> <p>〈執行委員〉</p> <p>森本 基臣 (全駐労)</p> <p>吉田 昌裕 (運輸労連)</p> <p>鈴木 浩樹 (ゴム連合)</p>	<p>山本屋嘉彦 (紙パ連合)</p> <p>下野 昌宏 (JAM)</p> <p>三戸 晃晃 (自治労連)</p> <p>永見 晋一 (交通労連)</p> <p>森本 弘一 (フード連合)</p> <p>黒木 賢一 (全国ガス)</p> <p>斉藤 直樹 (セラミックス連合)</p> <p>森脇 清光 (国税労組)</p> <p>手嶋 謙介 (私鉄総連)</p> <p>林 浩史 (ヘルスケア労協)</p> <p>吉川 幸宏 (国公総連)</p> <p>石川 賢治 (JR総連)</p> <p>池田 純一 (全労金)</p> <p>佐竹 敏之 (日教組)</p>	<p>大谷 敬亮 (NHK労連)</p> <p>梅地 務 (政労連)</p> <p>有井 聡 (サービス連合)</p> <p>松井 高明 (全水道)</p> <p>岸 清隆 (全自交労連)</p> <p>寺内 秀孝 (労済労連)</p> <p>林 和男 (林野労組)</p> <p>白根 卓也 (国交職組)</p> <p>河村 典子 (女性委員会)</p> <p>〈会計監査〉</p> <p>石川 和幸 (JEC連合)</p> <p>藤井 勇人 (運輸労連)</p> <p>河村 和宏 (セラミックス連合)</p> <p>井本 光彦 (全労金)</p>
---	---	---	--

大会宣言

連合は2019年に結成30周年を迎える。その節目を前に、次の時代の連合運動を力強く切り拓いていくためにも、今からの2年間で、足元をしっかりと固める期間としていかなければならない。

わが国は、人口減少に伴う課題の克服や第4次産業革命への対応など、未来への希望をつないでいくうえで重要な局面にある。その中で、誰もが互いに支え合い、生き活きと働き暮らせる社会としていくために、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現がより一層求められている。底上げ・底支え、格差是正の継続的な取り組み、社会保障と税の一体改革の着実な推進、教育の機会均等や能力開発の強化などを通じて、雇用と暮らしの安心・安全を確かなものとする必要がある。

10月22日に第48回衆議院総選挙が施行された。連合山口は、希望の党公認候補と立憲民主党公認候補のあわせて3名を推薦し、全力を挙げて取り組んだが惨敗に終わった。政権交代可能な政治体制づくりに向けた、与党1、野党1の構図が構築されず、結果として自公を利する形となったことは非常に残念と言わざるを得ない。

確固たる民主主義の実現には巨大与党に対峙できる健全な野党勢力が必要である。その上で、新たな政治勢力がどのような党運営・国会対応をはかっていくのか、引き続き慎重に見極めていく。

一方、山口県に目を転じると、景気は緩やかに回復しているとはいえ、個人消費や雇用者所得の増加と物価上昇の動きが鈍く、若者や女性の県外流出による人口減少、少子・高齢化の更なる進行に加え、人手不足、若年者の離職問題など、今、突破すべき様々な課題を抱えている。

こうしたなか、来年は、2月の山口県知事選挙をはじめとした自治体選挙が目白押しであり、私たちが求める政策実現に理解のある首長や議員を一人でも多く誕生させなければならない。推薦首長候補者や推薦議員候補者の必勝に向けて、引き続きの総力戦を展開する。

私たちは、本日、第24回定期大会で決定した運動方針に基づき、構成組織、単組、地域協議会、地区会議の連携のもとに、「7万人連合山口」に向けた組織拡大の加速、非正規雇用、女性、若者をはじめ多様な仲間の参画促進、社会の共感と信頼を得る取り組みを力強く発信していく。

そして、すべての働く者のための労働運動を力強く展開し、その社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく。

いまこそ、次の飛躍へ、確かな一步を踏み出そう！

2017年10月28日
連合山口第24回定期大会

2018年度山口県政策・予算に対する要請行動

～村岡知事に『仕事と家庭の両立支援』などを要請～



▲要請書を手交する中繁会長(右)

連合山口は、10月20日、村岡嗣政知事に対し、2018年度山口県政策・予算に対する要請行動を行った。

この要請は、地域協議会や政策委員会部門別連絡会議から提起された政策制度アンケートを基に、連合山口推薦議員の協力を得ながら策定し、10月2日の第7回執行委員会において確認したものである。

要請では、最初に中繁会長が「連合山口は『働くことを軸とする安心社会』の実現をめざしており、そのためには、県内の産業力を強化させ、雇用・所得

環境の改善を図り、経済の好循環を創り出していくことが何よりも重要であるとの考えのもと、労働政策と一体となった産業政策の実現に向けて取り組んでいる。働く者・生活者の立場からの要請として、趣旨や背景について、是非とも受け止めていただきたい」と挨拶した。

続いて山近事務局長から「県内企業の収益力の向上と、仕事と家庭を両立するための環境整備」など、3分野10項目にわたる要請内容について、趣旨説明を行った。

これに対し、村岡知事は「県政全般にわたる将来を見据えた建設的な提言をいただいた。厳しい財政状況下であるが、要請の趣旨を踏まえ、検討を進めていく」と述べた。

なお、要請に対する回答は、山口県として予算が固まる来年2月頃を予定している。



▲要請趣旨を説明

■主な要請内容

1. ものづくりを中心とした地域経済の基盤強化
 - 総物流の強化を目的とした検討会の設置
 - 公契約の下で働く労働者の労働条件のチェック
2. 地域経済の屋台骨となる中小企業支援
 - 中小企業クラスターの形成および支援
 - 中小企業奨学金返済支援制度の創設
3. 仕事と家庭の両立支援
 - 長時間労働の縮減に向けた中小企業への支援
 - 仕事と育児・介護の両立のための環境整備

*要請内容の詳細は連合山口のホームページをご覧ください。



連合山口 検索

<http://rengogy.com/>

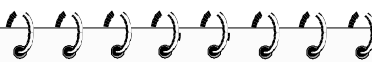
第48回衆議院総選挙

第48回衆議院総選挙(10月22日施行)にあたっては、希望の党公認候補と立憲民主党公認候補のあわせて3名を推薦し、全力を挙げて取り組んだが惨敗に終わった。確固たる民主主義の実現には巨大与党に対峙できる健全な野党勢力が必要である。引き続き「生活者」「働く者」の立場に立つ政党と連携を図っていく。

ご支援を頂いたすべての皆さんに心より感謝とお礼を申し上げます。

■選挙結果

1 区	大内 一也	36,582	次点
3 区	坂本 史子	41,497	次点
4 区	藤田 時雄	18,567	次点



連合山口カレンダー【11月】

- 11日 秋吉台延焼止め
草刈りボランティア
- 21日 第1回三役会議
第1回執行委員会

地協連絡先

● 県中央地域協議会

〒745-0071 周南市岐山通2-10 周南市役所仮庁舎別館内
TEL: 0834 (21) 0768 FAX: 0834 (21) 0290

● 東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL: 0827 (22) 0160 FAX: 0827 (22) 0161

● 西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL: 083 (222) 0869 FAX: 083 (223) 9428

● 中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3階
TEL: 083 (902) 1811 FAX: 083 (932) 1131